

令和7年3月6日（木）  
福岡県ひきこもり対策連絡調整会議

# 福岡県ひきこもり地域支援センター の取組について

福岡県精神保健福祉センター  
（福岡県ひきこもり地域支援センター）

# 令和6年度福岡県ひきこもり支援の概要

ひきこもりに関する悩みを抱える方や家族を関係機関と連携し継続的に支援するとともに、身近な市町村で相談や支援が受けられる体制を整備するために、様々な取組を行った。

## 1 ひきこもりの相談支援

電話、来所相談、オンライン、訪問・同行支援により、ひきこもり当事者やその家族、関係機関からの相談に対応し、適切な支援に繋げる。また、フリースペース（当事者の居場所）、家族のつどいを実施し本人・家族を継続的に支援する。

## 2 ひきこもり支援者の人材育成

ひきこもりの相談や訪問支援に対応できる人材の育成、地域において本人・家族への見守り・適切な支援に繋ぐことができる人材の育成のため、関係者向け研修会及び、ひきこもりサポーターフォローアップ研修を実施する。

## 3 ひきこもり支援のネットワークの構築

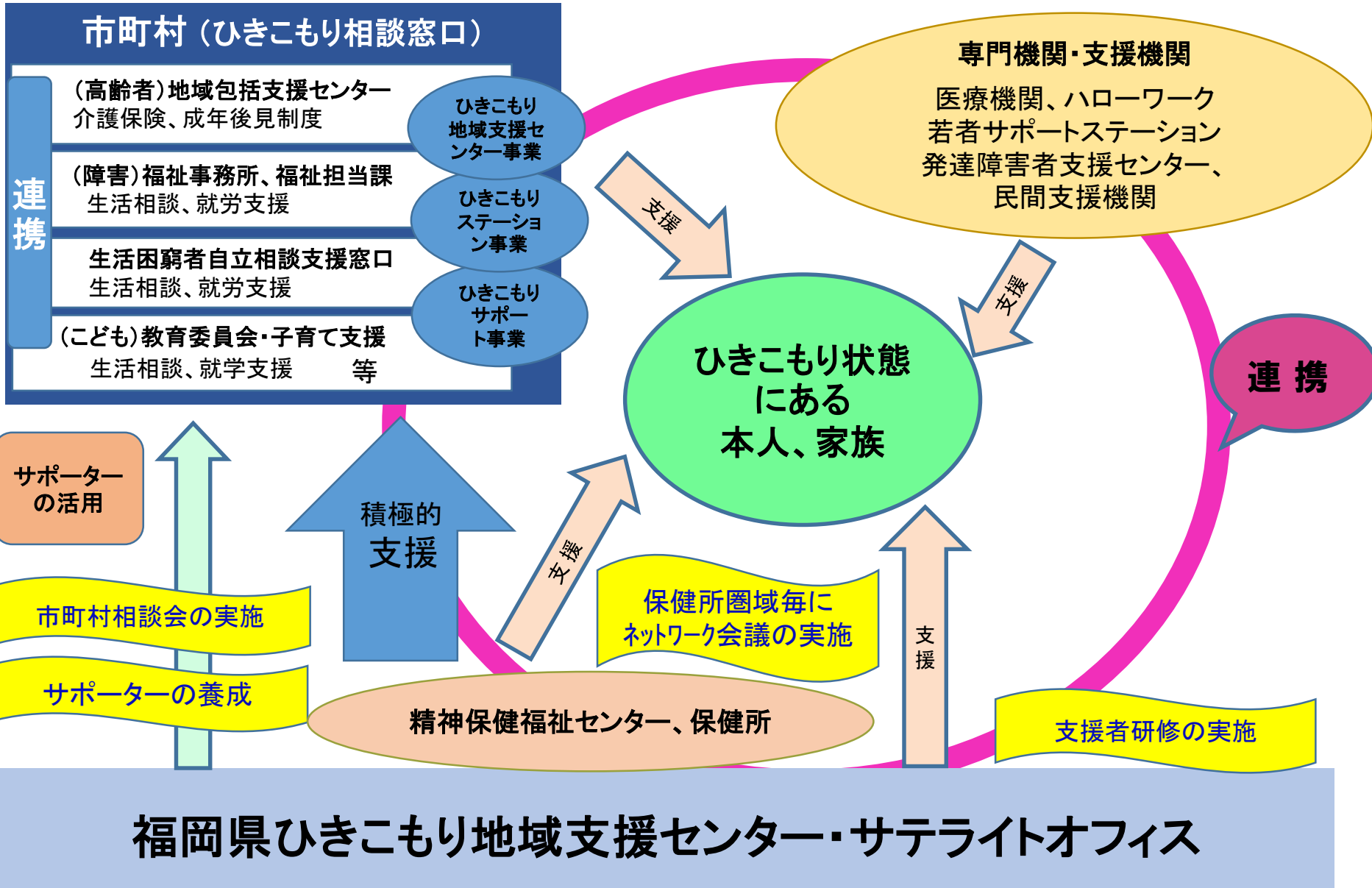
関係機関の連携体制の構築・強化のため、ひきこもり支援者等地域ネットワーク会議、ひきこもり地域支援センター実務者連絡会議、ひきこもり対策連絡調整会議を実施する。

## 4 ひきこもりに関する情報発信

ひきこもりへの理解を深め、必要な方へ支援を届けるため、リーフレット等の配布、HP掲載等の広報活動のほか、他機関が実施する会議・研修会等でひきこもりに関する講話を行い、ひきこもりに関する情報発信を実施する。

市町村支援

# ひきこもり支援体制のネットワーク



# 1 ひきこもりの相談支援(1)～ひきこもり地域支援センターの体制～

## 【設置目的】

ひきこもり状態にある者及び家族等へ支援を行うとともに、市町村への専門的助言や関係機関の連携を図り、地域におけるひきこもり支援体制を構築するために設置

令和2年7月、身近な地域で相談に対応するとともに、市町村への専門的助言や地域におけるネットワーク構築の促進を図るために、筑豊、筑後地域にサテライトオフィスを設置

平成22年6月設置

＜福岡地域＞ ひきこもり地域支援センター  
(春日市)

- ・ ひきこもり支援コーディネーター 3名
- ・ センター担当者 1名

連絡会議を毎月開催(情報交換や事例検討の実施)

令和2年7月1日設置

＜筑豊地域＞ 筑豊サテライトオフィス  
(田川市)

- ・ ひきこもり支援コーディネーター 2名
- ・ センター担当者 1名(筑後、筑豊兼任)

令和2年7月1日設置

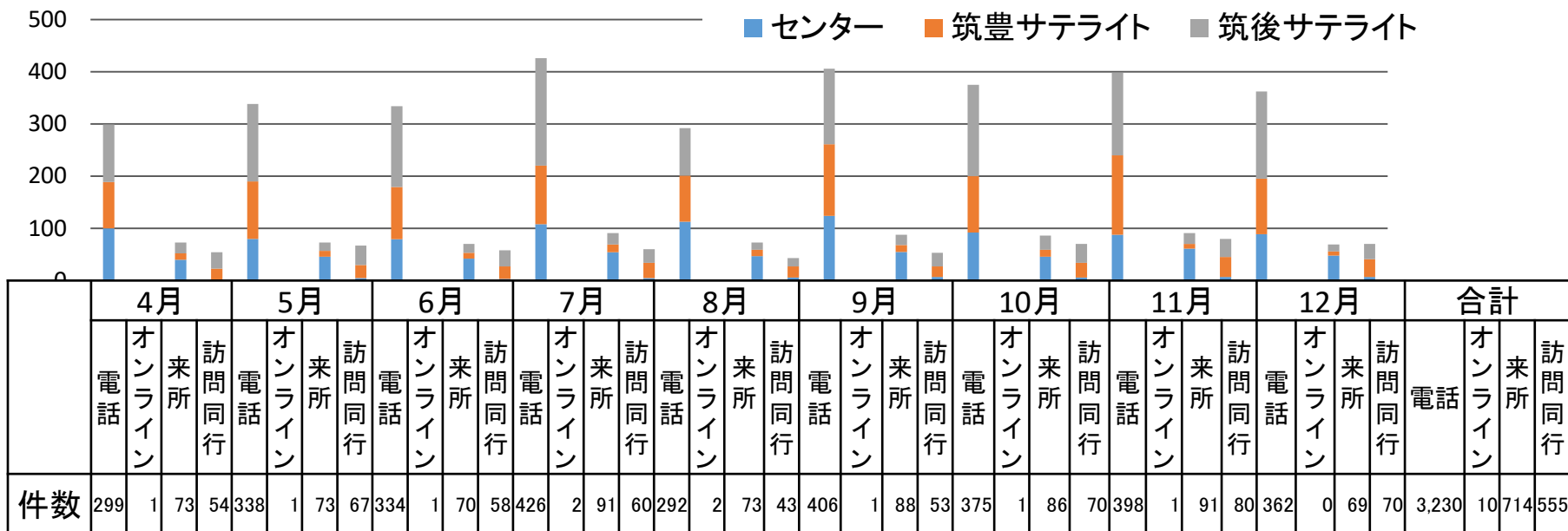
＜筑後地域＞ 筑後サテライトオフィス  
(久留米市)

- ・ ひきこもり支援コーディネーター 2名
- ・ センター担当者 1名(筑後、筑豊兼任)

両サテライトは社会福祉法人グリーンコープに委託

# 1 ひきこもりの相談支援(2) ~令和6年度相談状況(4月~12月)~

【令和6年度 月別相談延件数の推移】

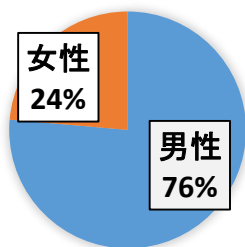


【令和6年度新規面談者状況】（令和6年度初めて来所又は訪問・同行支援を行った者（前年度からの継続者を除く））

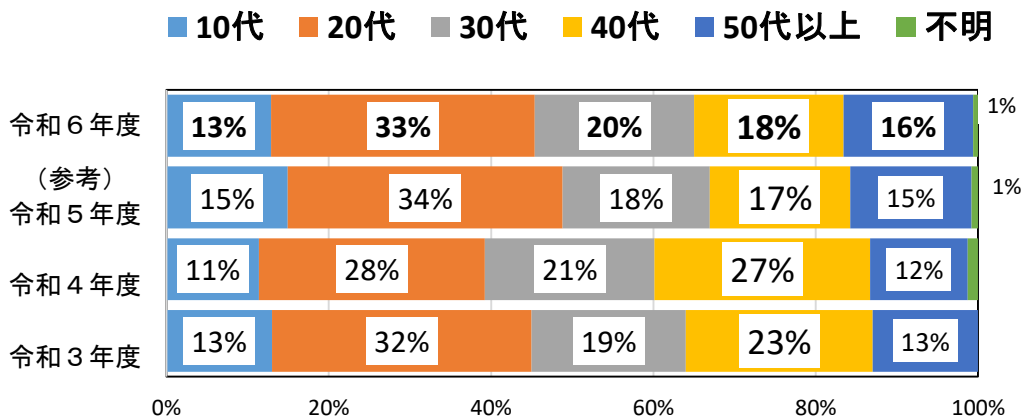
<人数>

	人数(人)
令和6年度 (4月~12月)	105
参考 令和5年度	163
参考 令和4年度	158
参考 令和3年度	166

<性別>

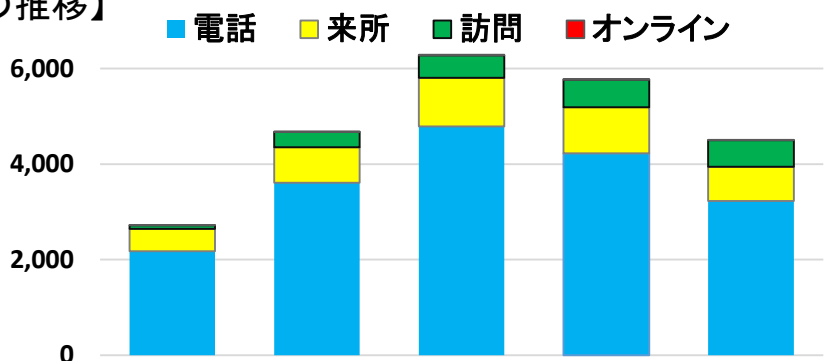


<年齢>



# 1 ひきこもりの相談支援(3) ～相談件数の推移等～

【相談延件数の推移】



	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 (4~12月)
電話	2,175	3,607	4,788	4,223	3,230
来所	472	746	1,018	966	714
訪問	72	319	469	575	555
オンライン	2	8	16	18	10
合計	2,721	4,680	6,291	5,782	4,509
(再掲)訪問支援の割合	2.6%	6.8%	7.5%	9.9%	12.3%

○ 令和5年度の相談延件数はサテライトオフィス開設前の令和元年度に比べて3.3倍に増加。

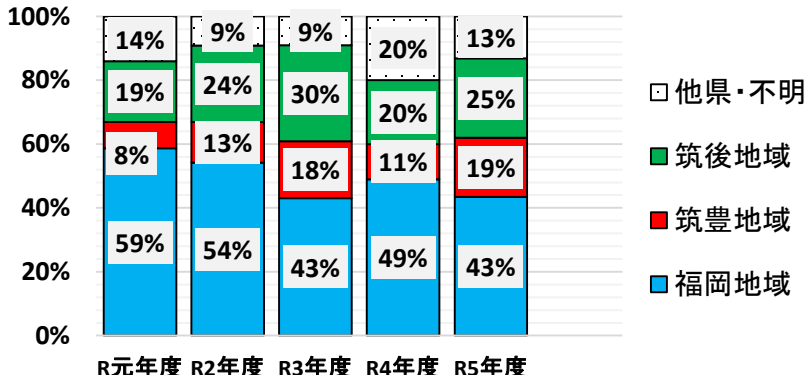
今年度の相談件数は12月末現在で、令和5年度の約8割である。

○ 相談延件数に占める訪問支援(訪問・同行支援)の件数は増え、令和元年度は約2%であったが、今年度は10%を超えた。

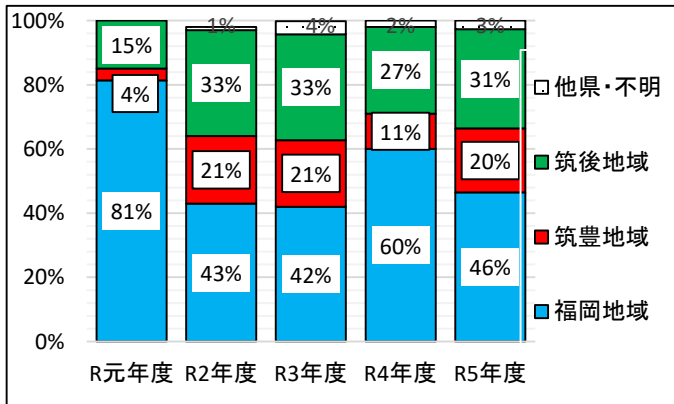
○ 相談者の居住地別割合は、令和元年度は福岡地域の割合が電話で約60%、来所で約80%であったが、サテライトオフィス設置後は筑豊、筑後地域の割合が増えた。

【相談実件数の居住地別割合(電話・来所)】

<電話>



<来所>



# 1 ひきこもりの相談支援(4) ～本人支援～

## フリースペース (ねすと♪たまゆら)

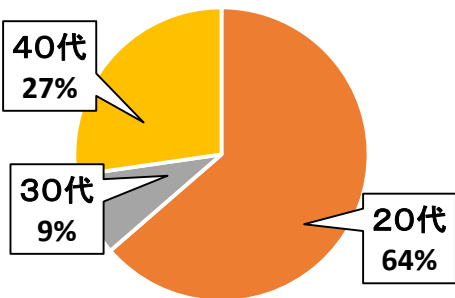
【目的】 ひきこもり状態にある本人を対象に、家庭以外に安心して過ごせる場を確保し、家族以外の人との関わりや様々な体験ができる機会とする。

【開催日程】 毎月第2、第4火曜日 14:00～16:00

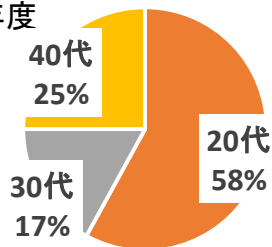
【実績】

	開催回数	参加人数(人)		
		実人数	延人数	1回の参加人数
令和6年度 (R7.1月末現在)	20回	11	121	5～9
令和5年度	24回	12	103	1～7

<参加者の年代(令和6年度実人数)>



(参考) 令和5年度



### 【取組等】

<内容>

・プログラムは事前に周知し、具体的な内容については、参加者の状況に応じて工夫し、調理や製作、運動等の活動を実施している。

<参加者>

- ・令和5年度の20代の参加者は全体の58%であったが、今年度は64%と増えている。
- ・今年度の参加者のうち、約3割が新規参加者である。

<現状・今後の取組>

- ・昨年度から新規参加者の増加傾向が続き、毎回5～9名が参加している。
- ・居場所を求めている者に情報が届くよう、ホームページ掲載、市町村、関係機関へチラシ配布するなど、様々な機会をとらえて事業を周知する。

# 1 ひきこもりの相談支援(5) ～家族支援～

## 家族のつどい

【目的】 家族がひきこもりに対する正しい知識を学ぶとともに、家族同士の分かち合いの場を提供する。

【開催日程】 月1回 第3木曜日 14:00～16:00

【内容・テーマ】 各回、前半を学びの時間、後半を家族同士の交流(フリートーク)の時間とした。

＜令和6年度学びの時間のテーマ＞

ひきこもりの基礎知識、医師講話、対応のヒント、VR体験会、社会資源の紹介(就労支援)、当事者からのメッセージ

### 【実績】

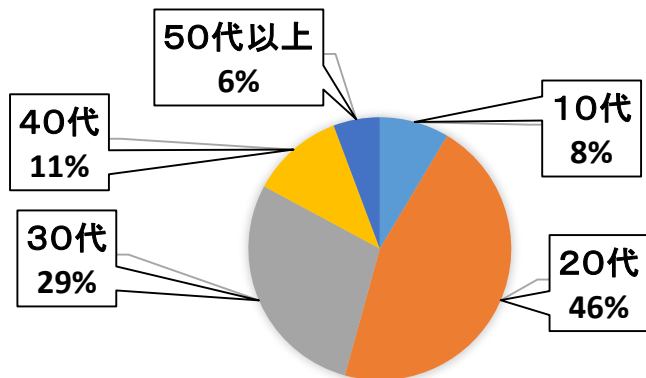
	開催回数	参加人数(人)		
		実人数	延人数	1回の参加人数
令和6年度 (R7.1月末現在)	10回	37	137	6～26
令和5年度	11回※	74	252	15～35

取り上げて欲しいテーマについてアンケート等を取り、家族のニーズを内容に反映させた。

サテライトからはオンライン参加

※悪天候により1回中止

＜参加家族の当事者の年齢割合(令和6年度実人数)＞



＜参加した家族の声＞

- ・「自分の正直な気持ちを話せた」
- ・「他の家族の話聞き本人への接し方のヒントを得た」
- ・「社会資源を学べた」
- ・「学んだことを実践したい」など

＜現状・今後の取組＞

- ・家族の学びの場になると同時に、家族同士で支え合い、力をつけ合う場になっている。
- ・今後も家族のニーズを取り入れ、家族支援の柱の一つとして、個人面談支援と合わせて取り組みたい。



## 2 ひきこもり支援者の人材育成(1)～ひきこもり支援者研修会～

市町村をはじめとした支援機関等において、ひきこもりの相談や訪問支援に対応できる人材の育成・資質向上を目的に研修会を実施した。

### 【日時・実施方法】

令和6年7月3日 14時～16時 オンライン開催

### 【対象者】

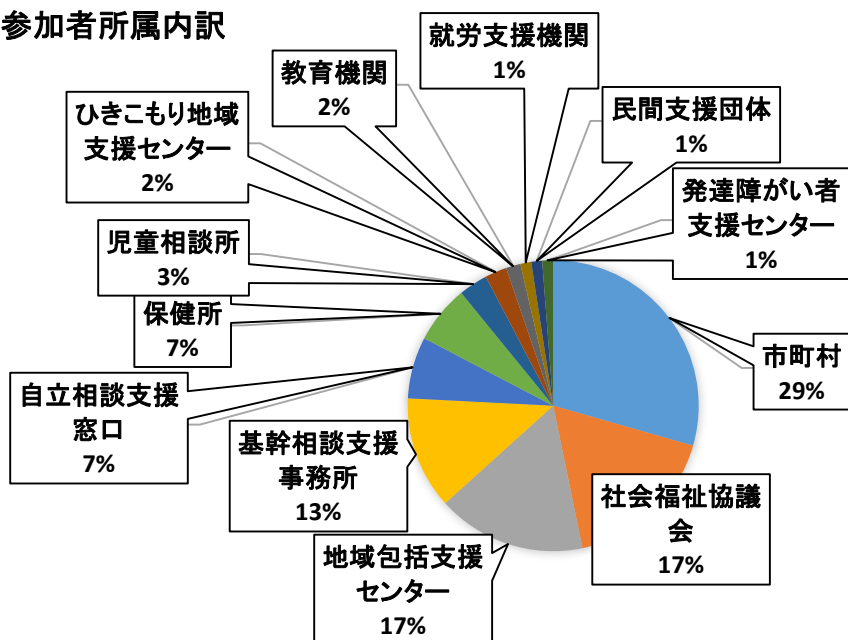
市町村、保健福祉(環境)事務所、福祉・労働・教育機関等のひきこもり支援従事者、県内のひきこもり民間支援団体等

### 【内容】

- ・演題 ひきこもりの多面的理解と支援～本人・家族支援のための5つのステップ「ひ・き・こ・も・り」～
- ・講師 九州大学大学院医学研究院精神病態医学 准教授 加藤 隆弘 氏

### 【参加者数】 272名(申込者数から欠席の連絡があった者を除いた人数)

#### 参加者所属内訳



・ひきこもり支援の基本的な心構えからVRを活用した家族支援等、幅広い視点で講演いただいた。

#### <参加者アンケート>

- ・「とても参考になった」73%、「参考になった」27%
- ・「ひきこもりを肯定的にとらえる視点を持つことができた。(市町村)」、「8050問題に直面している(地域包括)」、「原因を探しすぎないこと、家族へのアプローチが重要であることを再認識した。今後の支援について考えるきっかけとなった。(自立相談支援機関)」など

## 2 ひきこもり支援者の人材育成(2) ～サポーターフォローアップ研修～

平成28年からひきこもりサポーター養成研修を実施し、令和5年度末に、福岡県ひきこもりサポーター登録者が52名となった。しかし、福岡県におけるひきこもりサポーターの派遣実績はない状況が続いている。このことから、今年度はサポーターフォローアップ研修のみ集合形式で開催し、登録者が実践的な内容を学ぶと共に、サポーター登録者同士が情報交換する機会とした。

【日時】 令和7年2月17日 13時30分～16時30分

【対象者】 福岡県ひきこもりサポーター登録者52名

【参加者】 5名

【受講者の感想】

- ・支援活動をされている方の話を聞くと意欲が出ます。勉強になりました。
- ・色々な市町村が活動をしているので安心しました。困る前にどこかと繋がること。タイミングやきっかけもあるので焦らず、しっかりと話を傾聴していくことを学びました。
- ・毎回、心が温かくなって帰る研修なので、また、参加できればと思います。
- ・大事な心にささる言葉がたくさんありました。支援より理解、つながることの大切さ、解決ではなくつながること等、大変参考になった。

【現状・今後の取組】

サポーターとしての活動の機会がないため、サポーター登録者の研修、情報交換の場として開催した。今後はひきこもりサポーターとして活動した者の活動報告も含めた意見交換や情報交換ができることを目指したい。そのために、市町村への事業の周知を強化するとともに、活用を推進していく。

＜研修プログラム＞

- |  |
|--|
| 1. 福岡県ひきこもり支援センターの相談状況について   |
| 2. 地域におけるひきこもり支援の取組について <ul style="list-style-type: none"><li>・糸島市社会福祉協議会</li><li>・上毛町社会福祉協議会</li><li>・大川市福祉事務所</li><li>・筑後市社会福祉協議会</li><li>・大牟田市社会福祉協議会</li></ul> |
| 3. グループワーク(情報共有・意見交換)  |

### 3 ひきこもり支援のネットワークの構築(1) ～ひきこもり支援者等地域ネットワーク会議～①

市町村をはじめとした地域の関係機関のネットワークの充実及び関係機関職員の資質向上を目的に、保健所圏域ごとに、ひきこもり支援者等地域ネットワーク会議を開催した。

また、当会議は本県において「就職氷河期世代の地域のプラットホーム」(※1)と位置付けており、住民に身近な市町村でひきこもり相談を着実に受け止め、支援者間のネットワークを活用し、市町村プラットフォームの設置が促進されることを目指している。

(※1)1990年代～2000年代の雇用環境が厳しい時期に就職活動を行った世代は、無業や不安定な就職形態にあるなど様々な問題に直面しており、社会参加に向けて支援が必要なひきこもり者も対象とされている。令和元年6月、国はこの世代への支援策を打ち出し、取組のひとつとして市町村レベルのプラットホームを整備することとしている。

#### 【対象者】

市町村、自立相談支援機関、社会福祉協議会、基幹相談支援センター、地域包括支援センター、若者サポートステーション、発達障がい者支援センター等においてひきこもり支援に関わる職員

【実施方法・場所】 県域の9保健所圏域ごとに集合形式で実施

【実施時期・時間】 令和6年9月～12月 14時15分～16時30分

#### 【内容】

- ①説明:本県のひきこもり支援対策 (こころの健康づくり推進室)
- ②事例報告:「ひきこもり支援機関からの事例報告」(各地域から2事例)
- ③事例提供・意見交換:「多機関で連携している事例」をもとにグループワーク  
本人・家族への支援、関係機関が連携する上での工夫など

- ・事例提供・意見交換のファシリテーター、事例提供者は各地域から選出
- ・会議開催に当たり、保健所と担当者会議を実施するなど、各地域の保健所と共に取り組んだ。(ファシリテータ及び事例提供者は各保健所が選定)
- ・令和6年度は、プログラムに「ひきこもり支援機関からの事例報告」を組入れ、地域の支援機関から1事例、保健所地域を担当するひきこもり地域支援センターやサテライトオフィスから1事例を発表し、身近な地域にある事例や支援の内容を知る機会とした。

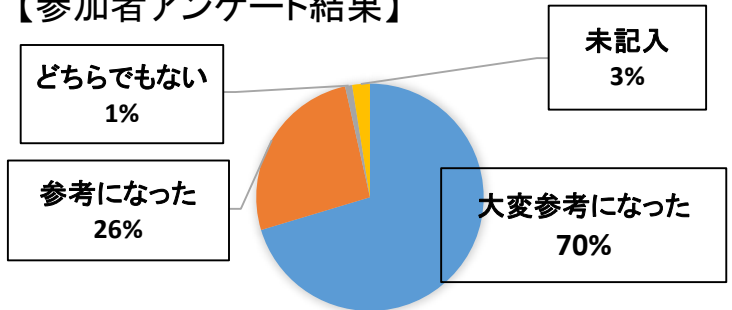
# 3 ひきこもり支援のネットワークの構築(2)

## ～ひきこもり支援者等地域ネットワーク会議～②

### 【参加者数】

9保健所 圏域会 議合計	参加数(人) (9保健所圏域会議合計)										
	参加者所属内訳										
	市町村	自立相談 支援機関	社会福祉 協議会	就労支援 機関	地域包括 支援セン ター	障がい相 談支援機 関	医療機関	その他	事例提供 者・ファシ リテータ	事務局※	
285人 (平均32人)	71	12	28	11	11	23	14	12	19	84	
	25%	4%	10%	4%	4%	8%	5%	4%	7%	29%	

### 【参加者アンケート結果】



※保健所、精神保健福祉センター、ひきこもり地域支援センター、サテライト等を含む

### <精神保健福祉センターに求めること> (複数回答可)

項目	計
1 事例対応への助言	146
2 同伴面接・訪問	118
3 本人の居場所	80
4 ネットワーク構築に向けた取組	66
5 研修会の開催	63
6 家族同士の集まる場	61
7 地域支援会議への参加	48
8 その他	2

<参加者の声>

- ・「事例について様々な職種の意見を聞くことができ、勉強になった。ネットワークの広がりを感じた。」  
(市町村、社協、自立相談支援機関、地域包括、就労支援機関、保健所)
- ・「社会資源、関係機関と情報交換ができ、とても有り難い時間だった」  
(就労支援)
- ・「庁内、庁外の支援体制づくり、ひきこもり支援の経験がない。支援スキルは課題」(市町村)

<現状・今後の取組>

- ・保健所と共に取り組むことで、市町村等、地域の関係機関のひきこもり支援への取組状況や地域の相談の核となる人材等の把握ができ、地域に即したネットワーク構築促進への取組ができた。
- ・事例を基にグループワークを行うことで、支援者の資質向上への取組にもなった。
- ・今後も保健所と共に地域に即したネットワークの構築促進に取り組みたい。

# 3 ひきこもり支援のネットワークの構築(3)

## ～実務者連絡会の実施等～

### ひきこもり地域支援センター実務者連絡会

北九州市、福岡市及び県のひきこもり地域支援センターの実務者で連絡会を開催し、県内の各センターの取組や課題について意見交換を行い、情報共有を行った。

日時	令和6年6月26日 14時～16時
場所	福岡県精神保健福祉センター
参加者	県内のひきこもり地域支援センター、精神保健福祉センター等 9機関 13名
内容	・各ひきこもり地域支援センターにおける令和5年度取組状況及び課題について(報告) ・各ひきこもり地域支援センター等の相談支援の取組について(情報交換) 情報交換テーマ:個別支援、若年層への支援、8050問題、居場所活動、記録の保管 など

### 関係機関の会議への出席

他機関が実施する会議に出席し、各機関の役割、課題等を情報共有し、地域の関係者との連携を図った。

	会議名
1	若者自立支援機関連携会議(全体会議、宗像、中間・遠賀、豊前・築上、行橋みやこ、筑後地域会議)
2	福岡県子ども・若者支援地域協議会(代表者会議、実務者連絡会議)
3	ひきこもり地域支援センター全国連絡協議会 総会・研修会
4	福岡県WORK! DIVERSITY事業シンポジウム
5	メタバース活用長期無業者就労支援事業委員会
6	一社)生活困窮者自立支援全国ネットワーク総会・研修

# 4 ひきこもりに関する情報発信・普及啓発

ひきこもりに関する情報発信を行い、地域住民や関係機関等への情報発信を行った。

- 「福岡県ひきこもり地域支援センター事業報告書(令和5年度)」作成、ホームページ掲載  
周知先: 行政機関(関係各課、市町村、保健所)、医療関係団体(精神科病院協会、診療所協会等)、  
社会福祉協議会、自立相談支援事業所、関係機関(就労支援、若者支援、民間支援団体等)
- 各事業のホームページ掲載及びチラシ作成、配布  
・ホームページに各事業の内容を随時掲載するとともに、市町村や出前講座等でチラシを配布。  
・保健所圏域毎に実施しているひきこもり支援者等地域ネットワーク会議で、チラシを配布し関係機関を通じて地域住民等への広報を行った。
- 福岡県公式LINE・X(旧Twitter)での発信
- 他機関からの依頼に応じて、ひきこもりやひきこもり地域支援センター役割等についての講話を実施し、普及啓発を行った。

	日程	研修会・会議名	参加者数(人)
1	令和6年5月8日	行政職員精神保健福祉業務基礎研修会	113
2	令和6年7月21日	楠の会運営委員並びに市部担当者研修会	7
3	令和6年8月19日	久留米市高齢者等の権利擁護に関する研修会	248
4	令和6年10月12日	春日市「ひきこもり家族のための交流会」	1
5	令和7年1月15日	福岡楠の会講演会	15
6	令和7年1月24日	糸島市社会福祉協議会「笑顔の集い」	14
7	令和7年2月18日	太宰府市「ひきこもり家族支援セミナー」	5
	計		403

○市町村相談会実施の市町において、市町広報やチラシ、SNS等により住民にひきこもりに関する啓発を行った。14

# 市町村支援(1)～市町村相談会～

## 市町村でのひきこもり相談会の実施

ひきこもりに関する悩みを抱える方がより身近な場所で相談できるよう、令和3年度から住民に身近な市町村に出向いて、ひきこもり相談会を実施している。今年度は新たに12市町で実施し、市が主催しセンターに依頼があり協力した2市、独自開催した1市を含め、計22市町で実施した。

市町の広報紙により相談会を広く住民に周知することで、潜在するひきこもり者や家族に相談窓口の情報を届ける機会とするとともに、市町村での相談支援体制の整備につながることを目的としている。

【日時】 1日3組の予約制

【取組み】

- 相談会の開催について市町の広報紙への掲載やSNSの活用、関係窓口にチラシを配架する等の周知を行った。
- 相談当日は、庁内に案内を掲示し、関係部署に再度の周知を行った。
- 予約がない場合は、関係部署と継続支援中のケースの情報共有等を行い、ケース協議の機会とした。
- 住民に身近な市町村で相談会を行うことで、自治体の職員等にひきこもり支援への意識が浸透する機会となった。
- 市町村が主催で相談会を実施する際、協力の依頼があれば応じることとした。

地域	市町村	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
センター管内 福岡地域	太宰府市			○	○
	須恵町			○	○
	新宮町			○	○
	福津市				○
	中間市				○
	芦屋町				○
	水巻町				○
	岡垣町				○
筑豊サテライト 管内	遠賀町			○	○
	飯塚市			○	◎
	嘉麻市				○
	桂川町			○	○
	宮若市	○	○		
	直方市				○
	小竹町				○
	鞍手町				○
	福智町				○
	大任町				○
	苅田町				○
みやこ町		○	○		
筑後サテライト 管内	小郡市	○	○	●	●
	朝倉市			○	
	筑前町			○	○
	柳川市		○	○	●
	大川市			○	○
	大木町			○	
合計		2	4	13	22

- センター主催で実施
- 市町村主催で実施し、センターは協力
- ◎ 市独自で実施

# 市町村支援(2)～人材育成、ネットワーク構築、情報発信・普及啓発～

※一部重複計上

## ○ 人材育成

ひきこもり支援者研修会

## ○ ネットワーク構築

・市町村等主催の会議への参加

	会議名(開催月)
1	久留米市こども分科会(7、10、1月)
2	八女市アウトリーチサポートチーム会議(5、8、11、3月)
3	大牟田市支援会議(11、12月)
4	田川地区障がい者自立支援協議会相談支援部会(4、6、8月)
5	嘉麻市ひきこもり支援者意見交換会(5、8、11、3月)

・ひきこもり支援者等地域ネットワーク会議の実施

## ○ 情報発信・普及啓発

・市町村の依頼に応じて、ひきこもり支援の知識やひきこもり地域支援センター役割等についての講話を実施し、普及啓発を行った。

・市町村相談会実施の市町において、市町広報やチラシ、SNS等により住民にひきこもりに関する啓発を行った。